

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 スプリンクラー等整備費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111(内3235)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 77,158 千円 (前年度予算額： 74,636 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	74,636	74,636	0	0	0	0	0	0	0
要求額	77,158	77,158	0	0	0	0	0	0	0
決定額	77,158	77,158	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

・平成25年10月11日に福岡市内の有床診療所で火災が発生し、多数の患者が亡くなった。これを受け消防法が改正され、病院や有床診療所等については原則、延べ床面積に関係なくスプリンクラー等の設置が義務付けられた (経過措置：令和7年6月30日まで)。
・このような状況に対し、有床診療所等のスプリンクラー等の整備に対し、財政支援を行うもの。

(2) 事業内容

・スプリンクラー等の整備を行う有床診療所、病院及び有床助産所に対して補助を行う

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国庫補助金（医療施設等施設整備費補助金）の活用
補助率：国 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	77,158	有床診療所、病院及び有床助産所のスプリンクラー等の整備に対する補助
合計	77,158	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画（第7期）
第3部 保健医療施策の推進
第2章 医療提供体制の構築
第7節 災害医療対策
第8節 へき地医療対策

(2) 国・他県の状況

- ・厚生労働省は、緊急度の高い事業として、医療施設等施設整備費補助金を交付し、有床診療所、病院及び有床助産所のスプリンクラー等の防火対策を推進している。

(3) 後年度の財政負担

- ・本補助事業については、県負担無し。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・保健医療計画上も医療提供体制の確保の充実は明記されており、また、国庫補助メニューを活用し、全県的に、有床診療所、病院及び有床助産所のスプリンクラー等の防火対策を推進していくものであることから、県が事業主体となることは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
有床診療所、病院及び有床助産所のスプリンクラー等の防火対策を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
① 有床診療所等 スプリンクラー設 置施設数	16 (H25)	45	47	48	45	100%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	病院及び有床診療所（3施設）が実施するスプリンクラー整備に対して補助金による支援を行い、防火対策を推進した。 指標① 目標：45 実績：45 達成率：100%
令和 3 年度	医療機関から要望がなかったため、未実施。 指標① 目標：45 実績：45 達成率：100%
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	福岡市内の有床診療所で発生した火災事故を踏まえ、同様の火災が発生した際の甚大なる被害を防ぐための緊急対策として実施されるものであり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	有床診療所等におけるスプリンクラー等整備は、着実に増加しており、防火対策は強化されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	事業実施主体において入札等により経費を節減しており、効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 スプリンクラー等整備に係る費用負担の他、工事期間中、一部病室を使用することができないなど、施設運営面での負担も大きい。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 有床診療所等のスプリンクラー等の整備を支援し、防火対策の強化を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	